

研究情報活動

1 研究成果の発表

(1) 研究論文及び雑誌記事

1) 評価・食料政策に関する研究

農林水産政策の評価に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
Food Security : Japan's Food Security Policy	Masato Ito	Paper presented at 2nd Conference of the FANEA		2004. 7
諸外国における農産物セーフガード発動の現状と課題	勝又健太郎	農林水産政策研究所レビュー	12	2004. 6
コメのカドミウム基準値に関する規制インパクト分析——フレームワークと費用分析を中心に——	久保香代子, 吉井邦恒	東北農業経済学会大会資料		2004. 9
On the New Sector-Wide Farm Income Stabilization Program in Japan	吉井邦恒	韓国農村経済研究院日韓国際シンポジウム資料		2004. 6
新たな品目横断的経営安定対策について	吉井邦恒	鳥取大学大学院連合農学研究科日韓国際シンポジウム資料		2004. 6
新たな品目横断的経営安定対策について	吉井邦恒	日韓農業環境シンポジウム資料(東北大学大学院農学研究科)		2004. 6
農林水産省の政策評価と政策体系化——食料・農業・農村政策に関する政策ツリーの提案——	吉井邦恒, 吉田泰治, 勝又健太郎	「公共政策の決定に伴う多元的総合評価システムの構築に関する学際的基礎研究」研究成果報告書(平成14 - 15年度科学研究費補助金基礎研究(B)(2))		2004. 7
農業共済金が地域経済へ与える影響について——産業連関分析による試算結果——	吉井邦恒, 吉田泰治	月刊NOSAI	56(9)	2004. 9
「平成15年産水稻等農業共済金が地域経済へ与えた効果に関する研究」報告書	吉井邦恒, 吉田泰治	農林水産政策研究所受託研究成果		2004. 9

食料・農業・農村政策に関連する環境の評価に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
Multifunctionality of agriculture and its relevancy to future agricultural policy	Motoyuki Goda	Resource paper of Seminar on "Rice is Life" 2004, Aug.		2004. 8
New Roles of Agriculture	Motoyuki Goda	Evaluation of multifunctionality of paddy farming and its effects in ASEAN countries based on country case studies, Report of Phase 1		2005. 1
農業の多面的機能の計測と今後の課題	合田素行	平成16年度農業多面的機能維持増進調査報告書		2005. 3
Declines in the collective management of tank irrigation and their impact on income distribution and poverty in Tamil Nadu, India	Kei Kajisa, K. Palanisami, and Takeshi Sakurai	国際開発戦略ディスカッション・ペーパー(国際開発高等教育機構)	5	2004. 8

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
Efficiency of Timber Production in Community and Private Forestry in Nepal	Takeshi Sakurai, S. Rayamajhi, R.K. Pokharel, and K. Otsuka	Environment and Development Economics	9(4)	2004.10
滋賀県環境農業直接支払い政策における意識構造分析——W T P を含んだ共分散構造モデルの適用——	佐々木宏樹	農村計画学会誌	23(4)	2005. 3
治水・利水の歴史と意味の考察	田中淳志	水利科学	48(6)	2005. 2
地域における第 1 次産業の持続可能な発展に関する分析——北海道地方を事例とした環境経済統合勘定の構築・推計——	林 岳	農林水産政策研究所レビュー	12	2004. 6
直接支払いの効果と多面的機能の定性的評価の必要性	林 岳	ニューカントリー	9月号	2004. 8
農林水産業における環境会計導入の課題	林 岳	農業生産活動の環境影響評価に関する FS 研究会「研究調査室小論集」	第 5 号	2004. 8
勘定体系による農道整備事業の評価	林 岳, 伊藤寛幸, 山本 充	日本計画行政学会第 29 回大会報告要旨集		2004. 9
地域における第 1 次産業の持続可能な発展に関する分析——北海道地方を事例とした環境・経済統合勘定の構築・推計——	林 岳	環境経済・政策学会 2004 年大会報告要旨集		2004. 9
環境負荷量の推計による農道整備の効果分析	伊藤寛幸, 林 岳, 山本 充	54 回地域農林経済学会大会報告要旨		2004.10
メゾ環境会計による地域農林業の持続可能性の評価	林 岳, 高橋義文, 山本 充	『物質フロー分析・産業連関分析・環境会計』連続ワークショップ——WS-C 環境会計のミクロ・メゾ・マクロ統合——		2005. 2
Evaluation of the recycling of biomass resources by using the Waste Account	Takashi Hayashi, Mitsu Yamamoto and Kiyotaka Masuda	地域学研究	34(3)	2005. 3
有機性資源循環利用システムの評価における勘定体系の適用	林 岳, 久保香代子, 合田素行	農業および園芸	80(40)	2005. 3

食料の国際又は国内需給の変動要因の解明と動向予測に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
マルサス『人口論』を越えて——国連 2000 年人口見通しによる人口シナリオと国際穀物需給パイロットモデルによる穀物の長期見通しについて——	上林篤幸	輸入食糧協議会報	11月号	2004.11
野菜作農業の展開過程——産地形成から再編へ——	香月敏孝	農林水産政策研究叢書	6	2005. 3

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
野菜産地の再編過程——果菜類を中心に——	香月敏孝	農林水産政策研究所レビュー	15	2005. 3
An Economic Evaluation of Recombinant Bovine Somatotropin Approval in Japan	Junko Kinoshita, Nobuhiro Suzuki, Harry M. Kaiser	Journal of Dairy Science	87(5)	2004. 5
消費者不安をとまなう食品関連新技術導入による農産物需給への影響分析——乳牛の乳量増加ホルモン剤（rbST）の事例——	木下順子， 鈴木宣弘	食料・農業の危機管理に関する 社会科学的アプローチ（危機管理 プロジェクト研究資料）	1	2004. 6
アジア経済連携の進展と生乳需給への影響	木下順子， 鈴木宣弘	平成16年度畜産物需給関係学術 研究情報収集推進事業報告書 （農畜産業振興機構）		2005. 3
食品安全性に対する消費者不安が農産物需給と生産構造に及ぼす影響評価——酪農における乳量増加ホルモン剤（rbST）認可の事例——	木下順子， 鈴木宣弘	平成15-16年度科学研究費補助金 研究成果報告書		2005. 3
最近の果実価格の計量分析——みかんを中心に——	吉田泰治	福岡の果樹	4月号	2004. 4
果実価格の予測モデルと品質要因	吉田泰治	農林水産政策研究所レビュー	12	2004. 6
食料・農業	吉田泰治	統計で見る日本 2005（日本統計 協会）		2004.10

食料消費動向の解明及び食料消費政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
改正JAS法の虚偽表示抑止効果についての考察	明石光一郎， 矢部光保	食料・農業の危機管理に関する 社会科学的アプローチ（危機管理 プロジェクト研究資料）	1	2004. 6
国産牛肉「トレーサビリティ・システム」の安全性保証と品質保証	市田知子	食料・農業の危機管理に関する 社会科学的アプローチ（危機管理 プロジェクト研究資料）	1	2004. 6
ドイツの牛肉トレーサビリティ事情	市田知子	デーリィマン	54(9)	2004. 9
牛肉トレーサビリティと情報技術——BSE以降のドイツの事情——	市田知子	エストレーラ	11月号	2004.11
「食品安全の経済分析」の研究動向と今後の課題	嘉田良平	食料・農業の危機管理に関する 社会科学的アプローチ（危機管理 プロジェクト研究資料）	1	2004. 6
酪農協・メーカー・スーパー間のパワーバランス	木下順子， 鈴木宣弘	畜産の情報（国内編）	5月号	2004. 5
米国動物衛生行政のトレーサビリティシステムをめぐって	近藤 浩	農林水産政策研究所レビュー	13	2004. 9
戦後から現在までのわが国の食品安全に関する事例とその変遷および特徴	佐藤京子， 西尾 健	食料・農業の危機管理に関する 社会科学的アプローチ（危機管理 プロジェクト研究資料）	1	2004. 6
食料の安全・安心と環境意識，トレーサビリティに関するインターネット調査と定量分析	矢部光保， 鈴木由紀	危機管理プロジェクト研究資料	2	2005. 3
社会の相互理解を進めていくための手段——市民参加型テクノロジー・アセスメントとは	高橋祐一郎	畜産コンサルタント	40(5)	2004. 5

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
生命を守る協定	西尾 健	月刊官界	343	2004. 5
遺伝子組換え作物は救世主か破壊者か	西尾 健	新農林技術新聞	1695	2005. 1
山を降りるクマと遺伝子組換え作物	西尾 健	千代田フォーラム文集	12	2005. 1
明治期における食品安全制度の概要——食肉政策を中心として——	堀越孝良	食料・農業の危機管理に関する社会科学的アプローチ（危機管理プロジェクト研究資料）	1	2004. 6
食の安全と安心に関する消費者意識の計量分析——トレーサビリティと遺伝子組換え食品に関するインターネット調査——	矢部光保， 嘉田良平， 大谷智一	食料・農業の危機管理に関する社会科学的アプローチ（危機管理プロジェクト研究資料）	1	2004. 6

食料の生産から消費に至る供給システムの効率化及び安定化政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
果実の流通コストと価格形成——みかんを中心に——	香月敏孝	農林水産政策研究所レビュー	13	2004. 9
アーカンソー州とカリフォルニア州を中心とするコメ生産・流通の実態	小島泰友， 東京穀物商品取引所コメ研究会	東京穀物商品取引所コメ研究会報告書・参考資料		2004. 7
コメの価格変動と季節変動性	小島泰友， 東京穀物商品取引所コメ研究会	東京穀物商品取引所コメ研究会報告書・参考資料		2004. 7
産地品種別自由米のグルーピングと価格変動の季節性——クラスター分析とポラティリティー分析による接近——	小島泰友	フードシステム研究	11(2)	2004.10
生産流通情報におけるフードチェーンの情報ニーズと開示対応	高橋克也	農林統計調査	9月号	2004. 9
青果物トレーサビリティにおける情報伝達に関する一考察	河野恵伸， 高橋克也， 大浦裕二， 佐藤和憲	第54回地域農林経済学会大会報告要旨		2004.10
我が国の食料品の流通コストは高いのか——産業連関表にみる商業マージン率——	薬師寺哲郎	農林経済	9636	2004. 8

2) 地域振興政策に関する研究

農林水産業の経営構造及び農林水産業経営の発展のための政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
農業研修の動向と今後の課題	江川 章	農林水産政策研究所レビュー	13	2004. 9
A Responsive Agricultural Training System for a Variety of New Entrants'	Akira Egawa	Farming Japan	38(6)	2004.11
新規就農者の動向とその育成支援——農外からの新規参入者を中心として——	江川 章	日本農業法学会2004年度大会資料		2004.11
新たな農業経営者に求められる資質	江川 章	農業構造問題研究	222	2004.12

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
認定農業者の経営改善意欲と経営成長	鈴村源太郎	農業経営研究	42(1)	2004. 6
認定農業者の経営改善支援	鈴村源太郎	全国農業新聞	8月6日	2004. 8
認定農業者の経営改善の課題	鈴村源太郎	農政調査時報	552	2004.10
市町村農業公社における水稻作業受委託の収益性分析	鈴村源太郎	2004年度日本農業経済学会論文集		2004.11
認定農業者の経営管理能力の実態と支援施策のあり方	鈴村源太郎	農業問題研究学会秋季大会予稿集		2004.11
経営改善に資する情報機器の活用状況及び経営管理に係る意向調査結果	鈴村源太郎	平成16年度経営情報総合調査分析事業報告書(全国農業会議所)		2005. 3
農業所得税申告書の利用可能性に関する一考察——「クロヨン」に関するマクロレベルの検討——	恒川磯雄	農林水産政策研究	7	2004.12
農業所得税申告書の利用可能性に関する一考察——「クロヨン」に関するマクロレベルの検討——	恒川磯雄	農林水産政策研究所レビュー	14	2004.12
担い手農家の将来展望——政策効果を加味した予測モデルによる推計——	橋詰 登	農林水産政策研究所レビュー	15	2005. 3
新規参入者の定着過程に関する計量分析——就農・自立——	藤 栄 剛	平成16年度日本農業経営学会大会報告要旨		2004. 7
水田農業構造改革の推移と展望	渡部岳陽	2004年度東北農業経済学会大会資料		2004. 9
米政策改革下における助成金帰属問題——仙台市の取り組みを事例に——	渡部岳陽	2004年度日本農業経済学会論文集		2004.11
(書評) 安藤光義著『構造政策の理念と現実』	渡部岳陽	歴史と経済	186	2005. 1
(書評) 田代洋一編『日本農業の主体形成』	渡部岳陽	農業経済研究	76(4)	2005. 3

農山漁村の社会安定化及び農林漁業者の福祉増進のための政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
定年帰農文学について——芥川賞との対比でみる2004年度農民文学賞の世界——	相川良彦	文化連情報	316	2004. 7
文法諸形式からみた「農業雑誌短歌」の心情分析	相川良彦	農民文学	2004 朱夏号	2004. 8
農協の農業融資に関する調査	清水純一， 佐藤孝一他	総研レポート	16(4)	2004. 8
東北における最近の人口動向	松久 勉	2004年度東北農業経済学会大会資料		2004. 9

農山漁村及び中山間地域等の経済の活性化政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
公的機関の定住対策とＩターン者の実態——島根県のケーススタディ——	江川 章， 小野智昭， 橋詰 登， 鈴村源太郎， 渡部岳陽	ライフスタイルプロジェクト研究資料	2	2005. 3
農産物直売所における購買行動——流通コストの観点から——	佐藤孝一	2004年度東北農業経済学会大会資料		2004. 9
農協青年・女性組織の比較検討	千葉 修	日本協同組合学会第24回大会報告資料		2004.10
中山間地域の農業集落が消えていく	橋詰 登	デーリィマン	54(9)	2004. 9
消滅集落に関する統計的アプローチ——農業集落の存続と中山間地域での存続条件——	橋詰 登	農業および園芸	79(10)	2004.10
集落消滅の実態と中山間集落の存続条件——農家消滅集落の統計分析から——	橋詰 登	農林水産政策研究所レビュー	14	2004.12
(書評) 田代洋一編『日本農業の主体形成』	橋詰 登	農林統計調査	54(12)	2004.12
中山間地域における農業集落の存続要件に関する分析	橋詰 登	農林水産政策研究	7	2004.12
地域活性化指標の策定と地域診断手法の開発	橋詰 登， 鈴村源太郎	農業工学研究所交付金プロ成果	3	2004. 3
農協経営に対する農業生産拡大の波及経済効果の時系列分析	吉野 章， 濱田秀和， 藤栄 剛	2004年度日本農業経済学会論文集		2004.11

農山漁村及び中山間地域等の資源の保全及び利用高度化のための政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
JAにおける有機農業の取組みとその特徴	相川良彦	農林統計調査	10月号	2004.10
(書評) 小泉英政著『みみず物語』	足立恭一郎	日本農業新聞	5月2日	2004. 5
(書評) 本城昇『日本の有機農業——政策と法制度の課題——』	足立恭一郎	土と健康	362	2004. 7
有機農業振興政策の導入は時期尚早か	足立恭一郎	第5回日本有機農業学会大会資料		2004.12
Progress of Farms Other than Family Farms	小野智昭	Farming Japan	39(2)	2005. 3
発展途上地域における農業活動の持続可能性に関する研究——Ecological FootprintとEmergy Flow Modelによる分析——	高橋義文	北海道大学大学院農学研究科邦文紀要	27(1)	2005. 3
農村の社会経済変動がもたらす土地等地域資源利用の変動予測	福田竜一， 藤栄 剛	農村工学研究所交付金プロ成果	3	2005. 3
全国アンケート調査結果からみた合鴨稲作への取組の特徴	藤栄 剛， 井上憲一， 岸田芳朗	合鴨通信	39	2004. 7

3) 国際政策に関する研究

食料・農業・農村問題をめぐる国際関係の動向及び国際調整政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
韓国の農業と対日農産物貿易の動向	會田陽久	2004年度東北農業経済学会大会資料		2004. 9
韓国の農産物需給と対日貿易	會田陽久	行政対応特別研究（FTA・WTOプロジェクト）研究資料	1	2004.10
予防原則批判論文の検討	明石光一郎	平成16年度日本農業経営学会大会報告要旨		2004. 7
日本の農業交渉力に関する一考察——対中セーフガードを事例にして——	明石光一郎	東北農業経済研究	22(2)	2004. 8
統計の見方と使い方 第1回——世界食料需給見通しに関する統計——	上林篤幸	農林統計調査	54(4)	2004. 4
「国際穀物需給パイロットモデル」による長期見通しと人口シナリオについて	上林篤幸	農林統計調査	54(5)	2004. 5
Structural Change of World Beef Trade and Its Impact : A Scenario Analysis by Using AGLINK model	Atsuyuki Uebayashi	Paper presented at 2nd Conference of the FANEA		2004. 7
Changes in the Trade Pattern and Regulations of Genetically Modified Soybean	Masashi Tachikawa	Farming Japan	38(4)	2004. 8
海外における遺伝子組換え作物生産の現状	立川雅司	農業および園芸	80(1)	2005. 1
果実・果汁と野菜のグローバル化	千葉 典	大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』（有斐閣）		2004. 5
グローバリゼーション下の世界農産物貿易——1990年代を中心に——	千葉 典	日本国際経済学会第63回全国大会報告要旨		2004.10
韓国製造業部門（1963～83年）における労働生産性の成長——重化学工業化政策を中心として——	樋口倫生	現代韓国朝鮮研究	4	2004.11
予防原則の争点——EUと米国の主張を中心に——	藤岡典夫	フードシステム研究	11(2)	2004.10
遺伝子組換え作物をめぐるWTO紛争の注目点	藤岡典夫	農林経済	9686	2005. 3
予防原則の意義	藤岡典夫	農林水産政策研究	8	2005. 3
FAO植物遺伝資源条約の発効を機に、遺伝資源へのアクセスとその利用から生ずる利益配分に関する議論の活性化を望む	山本昭夫、渡邊和男	日本育種学会ホームページ (http://www.nacos.com/jsb/pdf/fao_jyoyaku.pdf)		2004. 6
FAO植物遺伝資源条約の発効を迎えて（第1報）——植物遺伝資源条約と生物多様性条約——	山本昭夫、伊藤正人	育種学研究	6(3)	2004. 9
FAO植物遺伝資源条約の発効を迎えて（第2報）——「るつぽ」としての生物多様性条約——	山本昭夫、伊藤正人	育種学研究	6(3)	2004. 9
遺伝資源へのアクセスと利益配分に関する国際政策研究	山本昭夫	農林水産政策研究所レビュー	14	2004.12
韓国における畜産・野菜生産の現状と展望——対日輸出品目の事例分析——	柳 京熙、姜暲求	行政対応特別研究（FTA・WTOプロジェクト）研究資料	1	2004.10
韓国における養豚産業の現状——対日輸出との関連からの考察——	柳 京熙、姜暲求	畜産の研究	58(10)	2004.10
韓国の対チリFTA——その内容と農業支援策——	柳 京熙	農林経済	9661	2004.12
GM作物・食品の生産・流通・規制と商品戦略の動向	渡部靖夫	岸本裕一編著『Brand・GM・SCM——食品産業マーケティングのフロンティア——』（農林統計協会）		2004.10

ヨーロッパ地域の食料・農業・農村の動向及び政策の展開方向に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
ドイツにおける農業環境政策の方向と問題点	市田知子	農業問題研究	56	2004. 4
EU条件不利地域における農政展開——ドイツを中心に——	市田知子	農林水産政策研究所レビュー	12	2004. 6
農村「地域」の再検討——日欧の農村地域開発の比較の視点から——	市田知子	日本村落研究学会研究通信	211	2004. 9
EU直接支払いと「日本型直接支払い」	市田知子	週刊農林	1905	2004.12
ドイツの農業環境政策——環境支払いの拡がり と問題点——	市田知子	デーリイマン	54(12)	2004.12
直接支払いの多様性——風土、農業のやり方で 異なるEUの先例から——	市田知子	21世紀の日本を考える	28	2005. 2
2003年CAP改革のドイツでの実施	市田知子	平成16年度海外情報分析事業欧州 アフリカ地域食料農業情報調査 分析検討事業実施報告書（国 際農林業協力・交流協会）		2005. 3
（書評）Shiro Yoshizawa ed.『Japanese Less Favored Areas & Regional Revitalization』	市田知子	村落社会研究	11(12)	2005. 3
ドイツにおける農村地域開発の動向	市田知子	平成16年度海外情報分析事業欧州 アフリカ地域食料農業情報調査 分析検討事業実施報告書（国 際農林業協力・交流協会）		2005. 3
（解題・翻訳）アメリカ人はGMOを受け容 れているのか？——GMOの公的問題化に関する米 仏比較分析	須田文明	のびゆく農業	953	2004.10
経済学における認知主義的転換と解釈学的転換 ——コンヴァンシオナリストの場合——	須田文明	経済理論学会第52回大会報告要 旨		2004.10
Dominance of Plant Protein Resources by U.S. and the Development of European Policy on Oilseeds	Fumiaki Suda	Farming Japan	39(1)	2005. 2

アメリカ・オセアニア地域の食料・農業・農村の動向及び政策の展開方向に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
農産物貿易のカギ握る主要国・地域 ブラジル編	清水純一	ニューカントリー	52(1)	2005. 1
ブラジル砂糖産業の展開	清水純一	平成16年度海外情報分析米州地 域食料農業情報調査分析検討事 業実施報告書（国際農林業協 力・交流協会）		2005. 4
Genetically Modified Organisms : Their Impact on the International Food System	Masashi Tachikawa	Paper presented at 2nd Conference of the FANEA		2004. 7
Japanese Agricultural Cooperatives : Legacies and Challenges	Masashi Tachikawa	Paper presented at the XI World Congress of Rural Sociology (Working Group 23)		2004. 7
Towards a Sociology of Trust on Food : Basis of Our Trust on Domestically-Produced Food	Masashi Tachikawa	Paper presented at the XI World Congress of Rural Sociology (Working Group 23)		2004. 7
ポスト生産主義への移行と農村に対するまなざし の変容	立川雅司	日本村落研究学会研究通信	211	2004. 9

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
遺伝子組換え作物の生態的影響をめぐる諸論点と環境保全型農業	立川雅司	横川洋・中島紀一編『戦後日本の食料・農業・農村（第9巻）農業と環境』（農林統計協会）		2005. 1
遺伝子組換え作物をめぐる米国とEUの最新動向	立川雅司	デーリィマン	55(2)	2005. 2
欧州における遺伝子組換え政策の動向——英国および欧州委員会の動きを中心に——	立川雅司	農林水産政策研究	8	2005. 3

アジア・アフリカ地域の食料・農業・農村の動向及び政策の展開方向に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
社会保障	岡江恭史	今井昭夫・岩井美佐紀編『現代ベトナムを知るための60章』（明石書店）		2004. 6
ベトナム農村金融における集落の役割	岡江恭史	農林水産政策研究所レビュー	12	2004. 6
Bank loans with the village community in the Red River Delta	Takashi Okae	Vietnam on the road to development and integration : tradition and modernity - ABSTRACTS, The second international conference on Vietnamese studies -		2004. 7
中国の食糧政策の動向	河原昌一郎	製粉振興	449	2004. 5
中国の食品安全制度	河原昌一郎	農林水産政策研究所レビュー	12	2004. 6
中国のWTOに対する認識と姿勢	河原昌一郎	農林経済	9619	2004. 6
中国の農業法制について	河原昌一郎	食品流通システム協会会報	59	2004. 8
中国の食品安全制度の動向	河原昌一郎	農林経済	9638	2004. 9
中国食糧政策の動向と課題	河原昌一郎	食料と安全	9(10)	2004.10
中国の食糧政策の動向——保護価格政策から国際競争志向価格政策へ——	河原昌一郎	農林水産政策研究	7	2004.12
中国の食糧政策の動向——保護価格政策から国際競争志向価格政策へ——	河原昌一郎	農林水産政策研究所レビュー	14	2004.12
中国における農村金融の展開と農村信用社の組織的性格（上）	河原昌一郎	農林水産政策研究	8	2005. 3
（書評）大塚敬二郎・黒崎卓編著『教育と経済発展——途上国における貧困削減に向けて——』	櫻井武司	農業経済研究	76(1)	2004. 6
アフリカ——国際共同研究の動向と課題——	櫻井武司	国際農林水産業研究センター編『21世紀の国際共同研究戦略の構築』		2004. 7
コートジボワール危機とブルキナ・ファソの砂漠化——広域現地調査に基づく定量的分析——	櫻井武司	第15回国際開発学会全国大会報告論文集		2004.11
サヘル農家の脆弱性と土壌劣化の関係解明および政策支援の考察	櫻井武司、田中 樹、真常仁志、内田 諭	地球環境研究総合推進費平成15年度研究成果——中間成果報告集——（環境省地球環境局研究調査室）	5	2005. 2
Capacity Utilization of the Rice Milling Industry and Interlinkage in the Rice Market in Ghana	Jun Furuya and Takeshi Sakurai	Japanese Journal of Rural Economics	7	2005. 3

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
Farmers' climate risk management and household vulnerability in the dry savannah of West Africa : A case study in Southern Mali	Berthé, A., Caldwell, J.S., Yoroté, A., Doumbia, M., Sakurai, T., Sasaki, K., Kanno, H., and Ozawa, K.	Journal of Agricultural Meteorology	60(5)	2005. 3
Improved seeding strategies in response to variability in the start of the rainy season in Mali, West Africa	Caldwell, J.S., Berthé, A., Kanno, H., Sasaki, K., Yoroté, A., Ozawa, K., Doumbia, M., and Sakurai, T.	Journal of Agricultural Meteorology	60(5)	2005. 3
アフリカにおける「緑の革命」の可能性——西 アフリカの稲作の場合——	櫻井武司	アフリカ経済実証分析（アジア 経済研究所研究双書）	543	2005. 3
西アフリカにおける低湿地の土地所有制度と水 管理技術への投資	櫻井武司	農業経済研究	76(4)	2005. 3
韓国における肉牛・酪農の需給構造	柳 京熙	畜産の研究	58(11)	2004.11
韓国の「水田農業直接支払い」制度に関する一 考察——農業者アンケート調査の検討を中心に ——	柳 京熙， 飯澤望一郎	農経論叢（北海道大学農学部）	61	2005. 3

(2) 講演及び口頭発表

講演者	演 題	講 演 会 名	発表年月日
足立恭一郎	食・農・環境の腐蝕	特殊講義（埼玉大学経済学部）	2004. 9. 9
足立恭一郎	有機農業振興政策について（韓国）	有機農業推進議員連盟総会講演	2004.12. 1
足立恭一郎	韓国における親環境農業の進展	国際ミニシンポ——持続可能な農業の方向と技術展望——（三重大学生物資源学部）	2004.12. 3
市田知子	環境支払いの理論と実際——ドイツの事例から——	2004 環境支払いシンポジウム（東京農工大学「生存科学」COE ほか）	2004.12.19
井上荘太郎	農産物貿易と資源環境問題	特殊講義（埼玉大学経済学部）	2004. 9. 8
岡江恭史	マイクロファイナンスと紅河デルタの村	ベトナム研究会（ベトナム日本人材協力センター）	2004.12.28
岡江恭史	Tình hình thực hiện chính sách tín dụng ngân hàng ở làng xã Đông bang sông Hồng（紅河デルタ農村における銀行貸付政策の実施状況）	VDF workshop (Vietnam Development Forum)	2005. 1. 4
河原昌一郎	中国の食糧政策の動向	平成 16 年度食糧貿易実務研修（農林水産省総合食料局）	2004. 6. 2
河原昌一郎	中国の農業政策について	日本農業機械工業会国際委員会セミナー	2004. 9.10
河原昌一郎	中国の農業問題——中国 3 農問題の基本的視点——	中国農業事情勉強会（JETRO）	2004.11.15
河原昌一郎	中国の農村金融の展開と現状	平成 16 年度農水産業協同組合貯金保険機構職員研修	2005. 3. 8
河原昌一郎	農業組織化と市場安定化のための政策効果分析	中国食料変動プロ社会経済分野ワークショップ（JIRCAS）	2005. 3.28
櫻井武司	西アフリカの低湿地の土地所有と稲作技術の普及	第 10 回東大農経オープンセミナー	2004. 6.10
櫻井武司 ほか	Rice Miller Cluster in Ghana and Its Effects on Efficiency and Quality Improvement	貧困削減開発戦略研究会（国際開発高等教育機構）	2004.12.12
櫻井武司	サヘル農民の脆弱性と復元力について——コートジボワール危機のインパクトの測定——	インキュベーションセミナー（総合地球環境学研究所）	2005. 2.14
佐藤孝一	農協の農業融資に関する調査結果の概要	農協の農業融資に関する調査報告会（農林中金総合研究所）	2004. 7.20
清水純一	農協の農業融資に関する調査結果の概要	農協の農業融資に関する調査報告会（農林中金総合研究所）	2004. 7.20
清水純一	ブラジル農業の概要	農業金融研究会（農林漁業金融公庫）	2004.12. 3
清水純一	ブラジル砂糖産業の展開	米州地域食料農業情報調査分析検討会（国際農林業協力・交流協会）	2004.12.27
高橋祐一郎 ほか	GMO に関するコンセンサス会議——実施の経緯——	市民参加型 TA ワークショップ——No More DBT? ——（日本学術振興会「人文・社会科学振興のためのプロジェクト研究事業——科学技術ガバナンスプロジェクト——	2004. 6. 5
立川雅司	遺伝子組換え作物を巡る内外の情勢について	「遺伝子組換え食用作物の栽培規制のあり方」意見交換会基調講演（岩手県農林水産部）	2004. 7. 9
田中淳志 ほか	「魚のゆりかご水田プロジェクト」による多面的機能の評価とその可能性——二ゴロブナからの考察——	環境保全と地域の再生（滋賀大学環境総合研究センター公開研究会）	2005. 3.24
西尾 健	食料・農業・農村の展望	千代田フォーラム	2004. 5.19
西尾 健	食の安全について	人間環境セミナー 「科学技術と社会」（法政大学人間環境学部）	2004.10.16
西尾 健	これからの農業分野の試験研究について	滋賀県農業総合センター	2004.10.29
橋詰 登	センサスデータを用いた農業構造分析の視点と手法	平成 16 年度近畿農政局統計専門職員研修	2004. 9.13

講演者	演 題	講 演 会 名	発表年月日
橋詰 登	「地域活性化」指標の体系化と農山村自治体の活力診断手法	平成16年度統計専門職員地方研修（東海農政局統計部）	2004.10.20
橋詰 登	農業センサスデータを用いた地域農業構造の予測手法	平成16年度統計専門職員地方研修（東海農政局統計部）	2004.10.20
樋口倫生	輸入主導型経済成長——韓国製造業の全要素生産性（TFP）決定要因分析——	TEA会2004年度秋期大会	2004.11. 6
樋口倫生	アメリカのデータの予備的考察	牛の月齢判別に関する検討会・非公式会合（農林水産省・厚生労働省）	2005. 2. 1
藤 栄 剛	新規参入者の定着過程に関する計量分析——就農・自立——	平成16年度日本農業経営学会研究大会	2004. 7.18
山本昭夫	FAOのITPGR（植物遺伝資源条約）と利益配分	MRIのABSセミナー——ABS（遺伝資源アクセスと利益配分）の利益配分をどのように具体化するか？——（三菱総合研究所）	2004. 9.14
山本昭夫	知的財産権に係る国際的あつれき——生物資源をめぐる情勢——	大学院修士課程講義（政策研究大学院大学）	2004.10.28
山本昭夫	FAOのITPGR（植物遺伝資源条約）と利益配分	懇談会（バイオインダストリー協会）	2004.12.22
山本昭夫	生物資源の国境間移転をめぐる問題	科学技術政策研究所	2005. 1. 5
吉井邦恒	新たな経営安定対策について	日韓国際シンポジウム——WTO体制下における環境保全型農業と経営政策——（鳥取大学大学院連合農学研究科）	2004. 6. 2
吉井邦恒	新たな経営安定対策について	日韓農業環境シンポジウム——WTO体制下における経営安定化と環境農業——（東北大学大学院農学研究科）	2004. 6. 4
吉井邦恒	A Consideration on the New Sector-Wide Farm Stabilization Program in Japan	Korea-Japan International Symposium on Agricultural Environment（KREI：韓国農村経済研究院）	2004. 6. 7
吉井邦恒	政策評価と経営管理について——日米の農業保険をめぐって——	組合等経営指導者養成研修会（全国農業共済協会）	2004. 7. 5
吉井邦恒， 吉田泰治	共済金が地域経済に与える効果——産業連関分析に基づく地域経済への影響——	平成15年度水稲等農業共済金が地域経済に与えた効果の研究報告会（全国農業共済協会）	2004. 7.27
吉井邦恒 ほか	わが国の食料安全保障戦略分析のための数理モデルの構築	第23回日本自然災害学会学術講演会	2004. 9.13
吉井邦恒 ほか	農林水産省の政策評価と体系化——現状と問題点——	政策評価と予算制度に関するワークショップ（政策研究大学院大学）	2005. 3.12
吉井邦恒	新たな経営安定対策について——アメリカ・カナダを事例として——	新たな経営安定対策に関する研究会（北海道十勝支庁）	2005. 3.16
吉井邦恒	新たな経営安定対策について——直接支払いと変動緩和型対策——	日本型直接支払いに関する研究会（北海道庁）	2005. 3.17
渡部岳陽	農業と地域づくりをつなぐもの	第7回東北地域・自治体政策セミナー in 宮城（自治体問題研究所）	2004.11.14